

**研究課題** 当院における T1 癌に対する内視鏡治療後の追加治療に関する検討

## 研究期間

データ収集期間 2008 年 10 月 1 日 ～ 2017 年 9 月 30 日

データ分析期間 2017 年 10 月 1 日 ～ 2018 年 10 月 31 日

## 研究機関

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 消化器内科

## 目的

大腸癌治療ガイドラインでは T1 癌のリンパ節転移 (LNM) リスク因子が挙げられていますが、T1 癌の内視鏡治療後追加腸切除例の LNM 割合は約 10%であり、多くの LNM 陰性例に対しても手術が行われています。また、高齢者や下部直腸症例などの追加手術侵襲が高いと予想される場合では追加治療を行えない症例も存在します。今回我々は、当院での大腸 T1 癌に対する内視鏡治療後の追加治療に関して調査と検討を行い、現状を把握することを本研究の目的とします。

## 方法

2008 年 10 月 1 日～2017 年 9 月 30 日までの間に内科にて内視鏡治療 (ESD/EMR/CSP) を施行した T1 癌 84 病変のうち、LNM リスク因子陽性であった 56 症例 (56 病変) を調査対象として、追加治療の有無や内容を調査し、統計学的手法にて分析します。

## 意義

T1 癌手術適応症例において追加治療の有無や内容を明らかにすることにより、その因子や傾向を把握することは疫学的に有用な情報になると考えられます。

## 個人情報の保護

本研究では患者様のカルテなどから身体所見に関するデータおよび治療状況に関するデータ収集を行うため、研究対象者のプライバシー保護のため研究の意義や目的、方法、匿名化の確保を行い、研究結果をインターネットのホームページ上に公表されます。研究のために知りえた個人情報は院外に持ち出さず、記録物と合わせて施錠可能な場所に厳重に保管・保存します。データは個人情報が特定できないようにします。また、本研究でのみ使用し研究終了後 5 年間保存しその後個人情報に留意し破棄します。研究結果は学会に発表することもあります。その際も個人情報が特定できないように対処します。当院倫理審査委員会の承認を得ます。

## 問い合わせ等の連絡先

地方独立行政法人 市立吹田市民病院 消化器内科 長生 幸司

住所：564-0082 吹田市片山町 2-13-20 電話番号：06-6387-3311